

2024年3月7日

田辺三菱製薬史料館初の企画展「日本蹴球^{サッカー}と田邊五兵衛の系譜」を開催

三菱ケミカルグループの田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役：辻村明広、以下「田辺三菱製薬」）は、3月14日（木）から、大阪本社ビル内で公開する田辺三菱製薬史料館（以下「史料館」）において、史料館開館以来初となる企画展「日本蹴球^{サッカー}と田邊五兵衛の系譜」を開催します。

田辺三菱製薬の前身である田辺製薬で社長と会長を歴任した14代田邊五兵衛^{たなべごへえ}（1908～1972年、以下「五兵衛」）は、はやくは大正時代にサッカーの魅力を見出し、生涯をかけて日本サッカーの振興に取り組みました。その功績が評価され、2005年には日本サッカー協会の第1回「日本サッカー殿堂」に「日本サッカーの発展に顕著な功労者」として選出されました。史料館内に設ける企画コーナーでは、日本サッカーの出来事と五兵衛の主な事績に関する年表とともに、五兵衛の自筆資料やゆかりの品を展示し、日本サッカーと五兵衛の歩みをたどります。



▲展示品の一例（左：五兵衛自筆資料「服色考」 右：五兵衛収集のサッカーボール）

世界中のあらゆる世代に愛され、今や日本において最も競技人口が多い球技はサッカーです。近年では多くの日本選手が海外のクラブチームで活躍するほど日本サッカーのレベルは向上していますが、サッカーが日本に伝来したのはわずか150年前の1873年とされています。今夏のパリオリンピック・パラリンピックに向けてサッカー気運が高まるいま、黎明期の日本サッカーを支えた五兵衛が残した品に触れながら、日本サッカーの歩みと今日とのつながりをぜひ会場で感じてください。

田辺三菱製薬史料館企画展「日本蹴球^{サッカー}と田邊五兵衛の系譜」開催概要

会場：田辺三菱製薬史料館（大阪市中央区道修町3-2-10 田辺三菱製薬本社2階）
会期：2024年3月14日（木）～9月27日（金） ※会期中、一部展示替えを予定
開館時間：10時～17時（土日祝・会社の休日は休館）
入館：無料、予約は史料館ウェブサイトから <https://www.mtpc-shiryokan.jp/>
主催：田辺三菱製薬株式会社
協力：一般社団法人 神戸フットボールクラブ
問合せ先：田辺三菱製薬史料館 06-6205-5100（来館に関するお問合せ）

■14 代田邊五兵衛

- 1908年 3月18日大阪府生まれ
- 1927年 田邊五兵衛商店蹴球部創設
- 1931年 関西蹴球協会設立に尽力して初代会長就任
- 1934年 大阪商科大学（現大阪公立大学）卒業
- 1936年 第11回オリンピック競技会（ベルリン）選手団随行人員／派遣費用として多額の寄付
- 1941年 田辺製薬株式会社取締役社長就任
- 1946年 大日本蹴球協会会長代行副会長就任
- 1959年 田辺製薬株式会社取締役会長就任
- 1963年 神戸サッカー友の会設立、副会長就任
- 1968年 藍綬褒章を受章
- 1970年 社団法人神戸フットボールクラブ設立、副会長就任
- 1972年 勲三等瑞宝章を受章
- 1972年 死去
- 2005年 第1回「日本サッカー殿堂」殿堂入り

日本サッカーにおける先覚者。田辺製薬サッカー部の創部、関西サッカー協会の設立や日本サッカー協会の運営に尽力したほか、少年クラブチームの設立、女子サッカーや女子審判の育成までサッカー界の発展に広く寄与した。国内外のサッカー事情に詳しく、日本サッカー協会機関誌等を通してサッカーの情報を広く提供。特に、1962～1971年まで機関誌に連載された「^{うきゅうていぎつわ}烏球亭 雑話」が有名である。



▲日本サッカー殿堂 五兵衛のレリーフ

■田辺三菱製薬史料館

2015年に本社ビル2階に開館した史料館。江戸時代から今日まで、345年を超える田辺三菱製薬の歴史とともに、日本の医薬品産業の中心地として栄える大阪・道修町の歴史や医薬品産業の変遷を紹介。

「田辺三菱製薬のルーツを辿る くすりの道修町ゾーン」「田辺三菱製薬の歴史を巡る あゆみゾーン」「田辺三菱製薬の次代を拓く いまと未来ゾーン」の3つのエリアで構成され、大阪・道修町の歴史と文化、医薬品の理解を深めるための市民向け展示施設。



本件に関するメディアからのお問合せは、下記にお願いします。

お問い合わせ先
三菱ケミカルグループ
コーポレートコミュニケーション本部
大阪コーポレートコミュニケーション部
TEL: 06-6205-5119